（第3種郵便物認可）

調音パネル 米国で販売

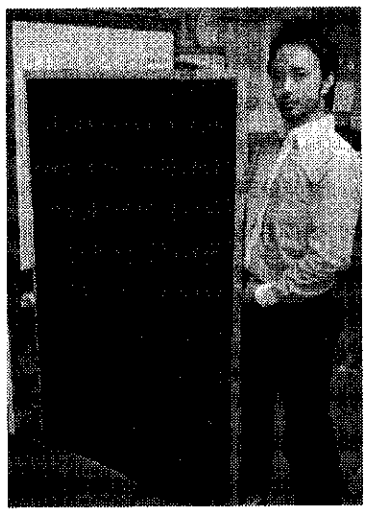
ハウス119 防音・楽器の音向上 富裕層のニーズ見込む

【福岡】ハウス119（福岡市中央区、古澤秀和社長、092・711・0119）は10月から、調音パネル「ルームクリエータ」の米国販売に乗り出す。調音・遮音ニーズが日本より高く、普及が期待できると判断した。現地公的機関で火災発生時の有毒ガス発生や不燃性など安全性に関する認証を取得後、富裕層向けに販売を始める。2012年12月期に米国で3000万円の売り上げを見込む。

ルームクリエータは5層構造で、厚さ21ミリメートルの特殊フィルム素材。壁面やピアノなど楽器の周囲に設置する。音を遅延して反射し、コンサートホールと同様に柔らかな残響音を作り出す。「狭い部屋でもホールのように聞こえる」（古澤社長）のが特徴だ。

一方で音と振動を遮断する効果があるため、間仕切りに使うと防音に役立つ。米国ではプライバシー保護を目的に病院の診察室に設置する使い方も提案する。既にカリフォルニア州の総合病院から引き合いがあるという。7月1日付で同州に設立した全額出資子会社のグローバルアコースティックテクノロジーズ（パサディナ市）が販売。古澤社長が同社社長を兼務し、当初6人、年内8人体制で取り組む。

同社は調音パネルメーカー。11年12月期売上高は約1億3000万円の見込み。パネル販売は楽器販売店など全国41の代理店が行っている。



ホールのような残響音を作り出す

球状活性炭 低価格化 化学・医薬向け来月発売

エム・イー・ティー

【名古屋】エム・イー・ティー（愛知県蒲郡市、外山富孝社長、0533・67・1638）は、10月に低価格の球状活性炭（写真）の製造・販売事業に乗り出す。製造時の燃料コストを抑制することで、1キログラム

投入する球状活性炭はフェノール樹脂を原料とし、粒径が180マイクロメートル（マイクロは100万分の1）と400マイクロメートルの2種類。活性炭の表面は孔径0・7ナノメートル（ナノは10億分の1）の孔があいており、孔の大きさに応じて特定の物質を吸着できる。

一般的な活性炭製造装置は、樹脂を炭にする炭化装置と細孔を形成する賦活装置とに分かれているのに対し、同社のものは両装置を一体化した独自構造。一体化することで炭化時に発生するガスを賦活処理時に燃料として有効活用できるため、燃料費を低減できる。

また従来手法では難しかった活性炭表面の孔の大きさを、顧客の要望に応じて変更できる。孔径0・7ナノメートルの範囲内で、0・1ナノメートル間隔で調整でき、高精度な吸着性能が求められる産業用需要を取り込む。

同社は竹などの木材を使用した活性炭や活性炭製造装置の製造・販売が主力事業。

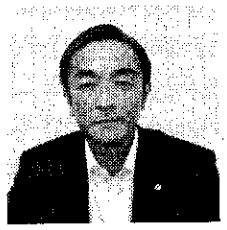
G-Labo 受託加工を強化 医薬・食品関連 工場移転、体制整う

【神戸】G-Labo（神戸市北区、吹井寛文社長、078・986・1030）は、本社工場移転を機に健康食品や医薬中間体などの粉粒体加熱混合、殺菌、乾燥などの受託加工を強化する。医薬・食品関連機械の設計、製造などをメーンにしながら、特許技術の過熱水蒸気を使った粉体加熱混合や殺菌、乾燥といった受託加工の年間売上高を、早急に現在の3倍、1億3000万円以上へと拡大したい考え。

過熱水蒸気による渦流混合システムや連続加圧型殺菌機は独自の装置をフル活用する。熱風の8倍の熱量を持つ過熱水蒸気が数十秒から数分で食品など粉粒体の殺菌、乾燥、焙煎（ばいせん）、脱脂、加水分解などを実現する。低酸素下の短時間加熱のため風味が壊れない。

殺菌などの受託処理費

さあ出番 アイ・イー・シー社長 塙（はなわ） 宏之（ひろゆき）氏



設計や人材派遣からスタートし35周年。今ではソフトウエアの受託開発、情報制御システムの保守、制御装置の設計・製造など事業領域は広がっている。大手電機メーカーからの仕事が大部分で、「いろいろなことに取り組んできて、ソフト・ハードともに対応できるようになった。しかし一方で、会社の事業を…い」と…

鎌田…ンを受…は、特…みを持…の得意…

得意分野で信頼

造まで…てもら…と、顧…信頼を…

分野…システ…ムが…就任…